

グループホーム「おりーぶ」 議事録

項目	令和7年度地域連携推進会議
日付・場所	2025年12月4日(木)・グループホーム「おりーぶ」
報告者	前山(施設夜間担当)
参加者	衛藤様(ご利用者とご家族)・松尾様(評議員)・伊藤様(八女市役所福祉課) 中島善成(施設長)・木屋優花(施設夜間担当)・前山稜(施設夜間担当)

I. 施設概要 (報告者：前山)

1. 基本情報

- 形態: 日中サービス型グループホーム (24時間体制で食事・日常生活上の援助を提供)。
- 理念: 「おりーぶ」の名の通り、ゆったりとした環境設定。
- 対象者: 身体障害者手帳をお持ちで、自傷・他害のない方。

2. 定員と現在の状況

- 定員: 10名 (内訳: 男性棟5部屋、女性棟4部屋、短期入所用1部屋)。
- 入居者の中心層: 20代~30代。
- 現況: 男性4名、女性4名の計8名が入居中。他1名体験利用を実施中。

3. 設備と環境

- 居室: 一人一室の完全個室制。広々とした部屋と充実した収納。
- 環境: 車椅子の方が過ごしやすい穏やかな空間。
- バリアフリー: 車椅子対応のトイレが2か所あり、広々とした空間で利用可能。
- 浴室: 利用者との職員の負担を軽減する特殊浴槽を導入。

II. 食事・料金体系・職員配置

1. 食事サービス

- 内容: 朝食、昼食、夕食すべて**管理栄養士**が中心となり、栄養管理された**手作りの**食事を提供。
- 料金 (1食あたり): 朝食: 240円/昼食: 280円 (生活介護利用者には公費あり) /夕食: 460円

2. 料金・費用

項目	基本料金	補足事項
家賃	52,000円 (基本)	収納が少ない2部屋は50,000円。体験利用時は日額1600円。
水道光熱費	月額9,000円 (固定)	体験利用時は日額300円。
金銭管理費	月額1,000円	希望者のみ。手帳や医療費等の金銭管理を代行。
洗濯費	月額2,000円	洗濯・乾燥・畳む工程を含む (車椅子利用者など自立が難しい方が多い)。
日用品	実費	ご本人が使用する分。

3. 職員配置と体制

- **配置職種:** 管理者、サービス管理責任者、世話人、生活支援員、夜間支援職員。
 - **日中体制:** 看護師常駐。職員は計5名程度（男女合わせて）。
 - **夜間体制:** 宿直職員2名（男性1名、女性1名）、夜勤職員1名の計3名体制。施設内の他事業所と連携し、非常時にも対応可能な体制を構築。
-

III. 衛生・医療・イベント・連携

1. 衛生管理

- **清掃:** 世話人が中心となり、毎日居室の掃除、洗濯を実施。
- **設備:** お掃除ロボットを使用。食器消毒庫や歯ブラシ消毒機械を導入。
- **新たな試み:** 手洗い困難な方のため、2025年12月よりおしぼり機械を導入（朝の洗顔、食事前の手拭きに使用）。

2. イベントと地域・外部連携

- **地域交流:** 近隣店舗（コンビニ、パン屋）への移動支援や買い物を通じて、地域の方々との交流を図る。今後は地域清掃などの活動への参加も積極化する予定。
- **医療・歯科:** 医療機関との連携を強化。毎週水曜または木曜に、八女市の大石歯科による**訪問歯科**を実施。
- **理美容:** 月初めに訪問理容を実施（希望者のみ）。
- **イベント:**
 - **家族交流会:** 年に一度、ご家族を招いた交流会（BBQ、座談会）を実施。継続的に開催予定。
 - **外出イベント:** 毎月1回以上、外出イベントを実施（例：佐賀空港、ハウステンボスへの日帰り旅行など）。

3. 危機管理・服薬管理

- **服薬管理:** 看護師による服薬管理を徹底。宿直職員と看護師による**ダブルチェック体制**を導入し、ミスゼロを目指す。
 - **虐待防止:** 年2回の総会に加え、虐待防止委員会を設置。月1回以上のチームミーティングで、支援の統一化と課題解決を図る。
 - **BCP（事業継続計画）:**
 - 2024年（令和6年）からの策定義務化に対応し、年1回以上の研修を実施。
 - **電力対策:** 電気自動車を**蓄電池**として導入し、太陽光発電と連携。停電時（特に真夏・真冬）に一部のエアコンや冷蔵庫等を稼働させ、半日～1日は支援継続可能にする実験を実施中。
 - **水対策:** 給湯器の水を、災害時の飲み水やトイレ用水として活用する対策を検討。
-

IV. 質疑応答・総評

発言者	要旨
衛藤様(利用者本人)	最近行ったハウステンボスの日帰り旅行が1番思い出に残っている。
衛藤様(利用者ご家族様)	<p>* 感謝と評価:本人の意思を尊重し、できることをやらせてくださる指導に深く感謝。当初困難だった4泊5日の宿泊が継続できていることに感動している。* 家族への配慮: 職員から「夫婦や妹さんとの時間も大切にしてほしい」と声をかけられたことに、家族全体を見ていただいていると感じ、感謝している。</p> <p>* 安心感: 夜間も複数(男女)の職員が常駐していることが親として最大の安心につながる。</p> <p>* 総括: 設立、日々の運営、そして兄弟への配慮まで、多岐にわたり感謝している。今後も良質な福祉の提供をお願いしたい。</p>
報告者(中島)	* 家賃補足: グループホーム設立時の資材高騰により、古い施設に比べ家賃が高くなっている点をご理解いただきたい。利用者様の自立を通じて、ご家族の夫婦の時間や兄弟の時間を取り戻す機会を提供したい。
伊藤様(八女市役所福祉課)	現状の様子を把握する機会がないが実際にこのような場で裕さんがおり一歩でどのような生活ができているのか等知ることができた。
松尾様(評議員)	入浴を毎日しているので衛生面ももちろんご利用者様も嬉しいと思う。 また食事の提供も手作りで、人の手の込んだことをしているので利用者・ご家族様も安心されるのではないかと

特記事項:

- 利用者様の意向アンケートの実施と回答の抜粋資料を配布した。
- BCPの冊子(事業継続計画)を配布し、説明を行った。